

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	重度化や終末期の取り組みについて、全職員にて、医療機関や家族との連携支援体制を整える。	職員全員で入居者の重度化、終末期に対する支援方法を確立する。	医師・看護師による研修等で職員のスキルアップに努める。 (医療機関の医師と相談したところ、当施設には看護師が居ないことから無理ではないかとのことで、役場と相談し、ターミナルケアはやめることとした。)	1か月
2	43 (16)	入居者の排泄パターンの把握や排泄の自立に向けた支援を行う。	自立者は必ず排泄後に確認、また、介助者は排泄チェック表にて確認する。	排泄パターンを知るため、殆どの入居者への排泄後の声掛けや観察で、チェック表、日誌での把握が出来るようになった。	1か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。